



まどのそとは きのうちきょうもふぶきです。

そとを じっとみていたルウは ためいきをつきました。

”そとであそびたいねえ。”とロビンにはなしかけました。

ロビンは ルウの いちばんなかよしのにんぎょうです。

だいどころで それをきいていたおかあさんが いいことをおもいつきました。

”ルウちゃん きょうのおひるは ピクニックにしようか？”

そして テーブルをかたづけて ふるくなった うすみどりのもうふを
へやにしきました。

”ほらね のはらになったでしょ。”

そのうえに そとでつかう ほんとうのピクニックよしの しきものも
ひろげました。

”やっほー！”

ルウのはらで ころがったり ねころんだり しました。

ころがっているうちに ルウもいいことをおもいつきました。

しっぽにつける りぼんを もうふのうえにおきました。

あかいりぼん きいろりぼん ももいろのりぼん。

”おはなが さいたよ。”

”あらあ きれいにさいてるね。”

そういいながら おかあさんが もってきてくれたおひるごはんは

ルウのだいすきな たまごサンドと のいちごのジャムのサンドイッチでした。

サンドイッチをたべながら あったかい ゆずちゃものみしました。

”おいしいね。” ”そうね。おいしいね。”

はるは まだだけど きょうのルウのうちは ちょっと はるでした。

geovisit());



まだ少し 風はつめたいけれど ひざしは あったかくなりました。

ルウはもう じっと してられません。

“そとへ いこうよ～。ロビンも いきたいって。”

朝から おかあさんの エプロンを ひっぱっています。

“はいはい。あとかたづけが すんだらね。”

まちきれなくなったころ おかあさんの しごとが すみました。

うわぎをきて でかけます。

春には まいとし つくしがはえる 小川への さんぽです。

やわらかい草を ふんであるくと 草のにおいがします。

“あ！ あったあつた。”

つくしは かおを だしていました。

“ここにもある。あそこにも。”

“そうそう たまごとじにすると おいしいものね”

おかあさんの ひとことに むちゅうで とっていた ルウの手が とまりました。

・・・そうだ つくしは にがいんだ。・・・

つくしんぼの みどりの あたまは たべると にがいのです。

おかあさんは 春のかおりだと いうけれど ルウはニガテです。

・・・とりすぎちゃった。・・・

まだ つくしを かごに いれつづけている おかあさんを よこめで みながら

ルウは花をつむことにしました。

カラスノエンドウ・・・れんげ・・・イヌフグリ・・・すみれ・・・。

“ねーねー きれいでしょ。”

“かえったら ビンにいれて かざろうね。”

かごいっぱいの つくしと 花を もってかえりました。

その日の ばんごはんは やっぱり つくしのたまごとじでした。

ルウは かおを しかめながら たべました。

・・・ふう・・・

・・・でも また さんぽに いきたいな。・・・